

# 広報

## 市の人口

3月1日現在

世帯数 13,422世帯

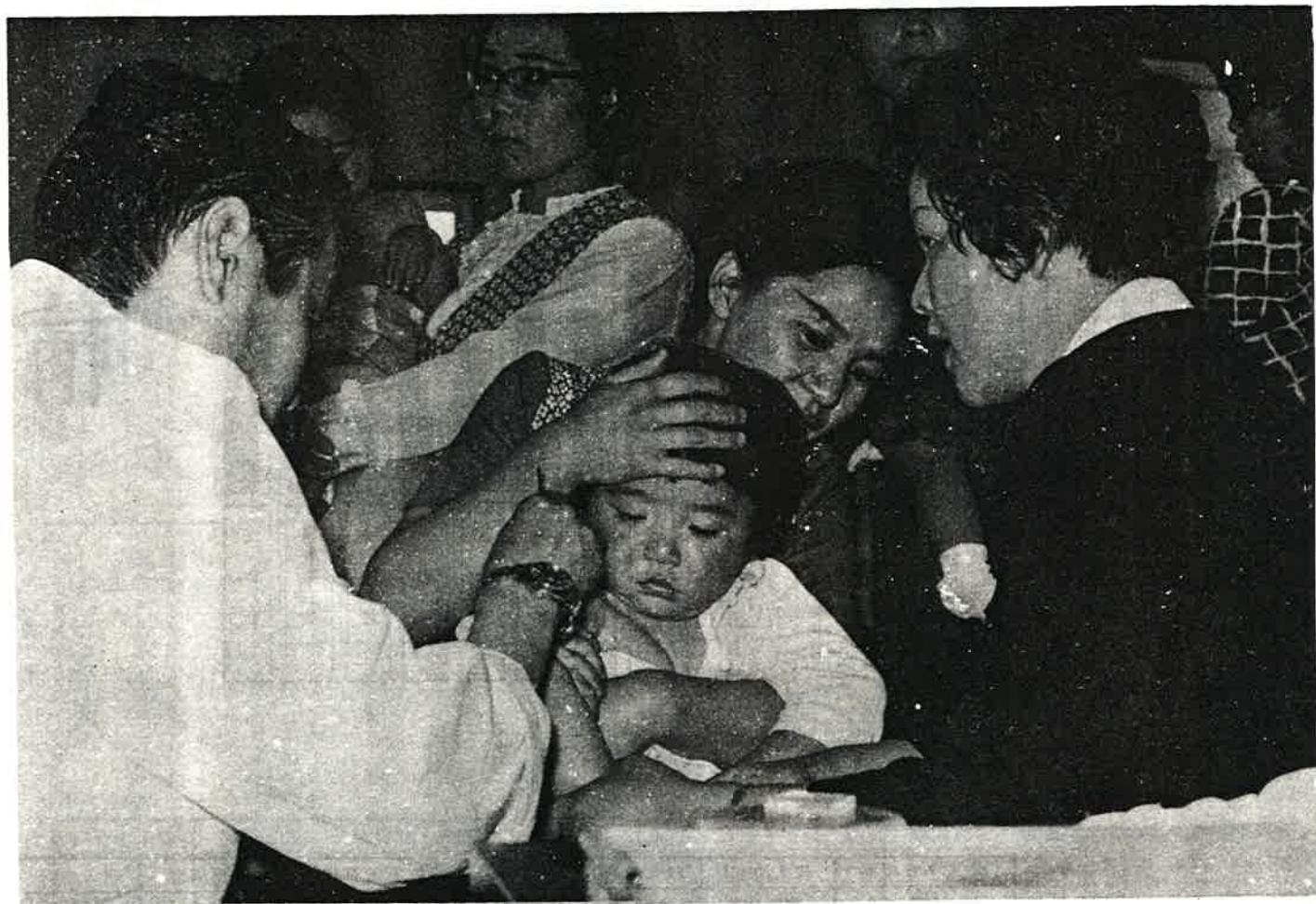
人口 男 27,773人

女 28,086人

編集発行／千葉県富津市役所 電話 天羽 (04786) 7-0511(代)

昭和48年4月1日

第12号



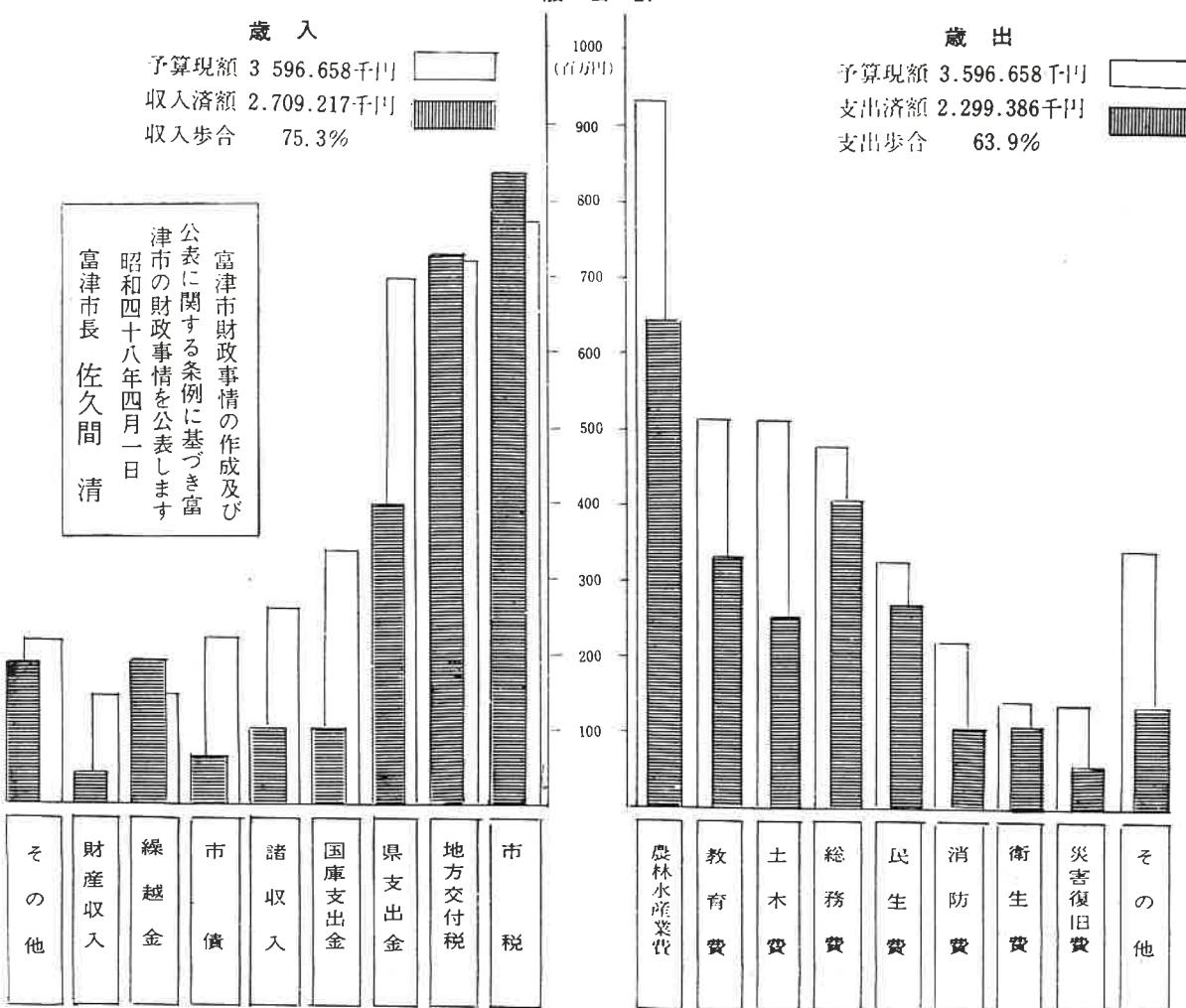
四月は桜、つばき、ぼけ、やまぶき、もくれん、すみれたんぽぽと数えきれないほどの花が咲きそろい、春の日ざしの気持ちのよい季節です。また幼児の健康診断や予防注射のおこなわれる季節でもあり、ことし小学校へ、あるいは幼稚園にはいるお子さんにとっては、新しい人生？の出発点というわけです。いままではお母さんに甘え、近所のお友だちだけだった交遊関係から、顔も気心もわからぬお友だちと一緒にすごすことが多く家に帰るまで、気持ちを張りつめていることでしょう。

親の目からみればいつまでも、えん坊でやんちゃぐらにしか見えませんが、一步、外に出れば子どもたちの世界にも案外、おとなとの世界と同じような環境が待ちかまえているようです。

## 昭和47年度予算の執行状況

昭和48年2月28日現在

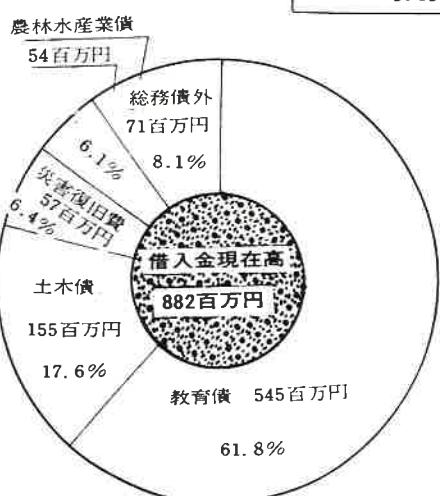
## 市の財政事情



## 特別会計

(単位千円)

歳入予算現額	収入済額	収入歩合	歳出予算現額	支出済額	収入歩合
537,453	448,648	83.4	国民健康保険	537,453	401,545
53,124	47,018	88.5	有線放送	53,124	40,270
10,597	6,538	61.7	広域行政	10,597	5,905
8,414	9,743	115.8	母子センター	8,414	5,524



## 市有財産の状況

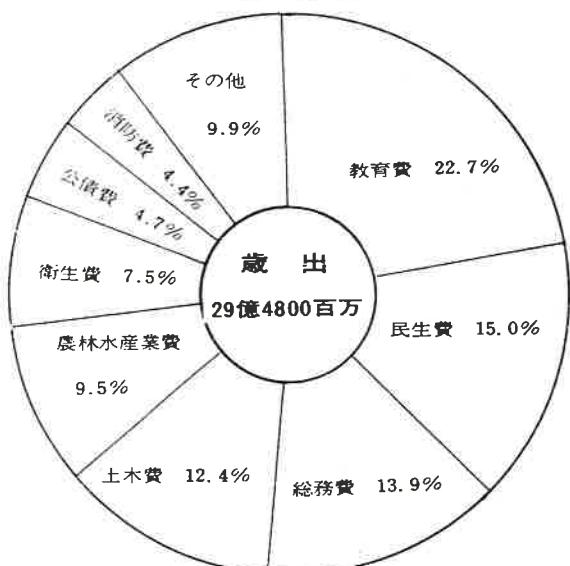
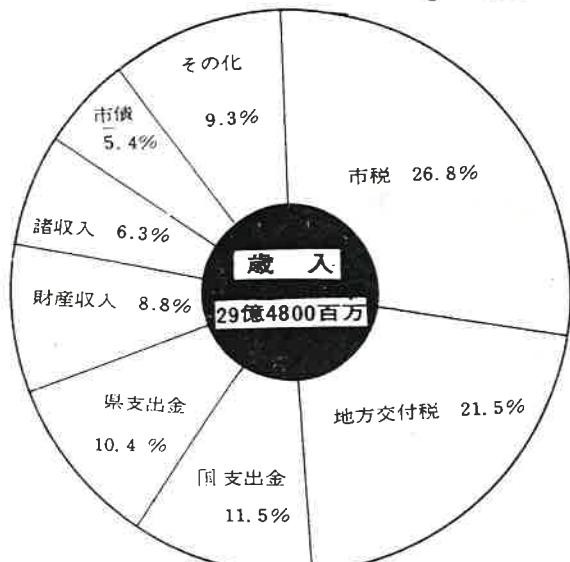
土地	681.504m <sup>2</sup>
建物	91.237
有価証券	115,508千円
積立金	75,724千円
車輛	59台

## 市税負担の状況

(単位円)

I人当たり	一世帯当たり
4,949	20,599
5,593	23,275
1,783	7,420
808	3,363
3,922	16,321
17,055	70,978
	計

# 48年度当初予算から



## 特別会計

会計名	歳入歳出予算総額
国民健康保険事業	622.621千円
富津地区有線放送事業	11.641
大佐和地区有線放送事業	11.225
天羽地区有線放送事業	29.259
広域行政事業	9.627
母子健康センター事業	8.344

総額  
29億4千8百60万円

## 主な建設事業

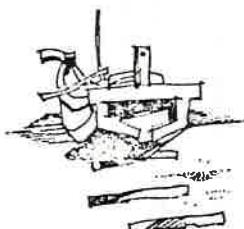
(単位千円)

事業名	事業費
青堀、飯野保育園増築事業	16.713
上水道施設整備事業	20.000
市道舗装改良事業	84.529
区画整理事業	42.239
消防施設整備	13.775
青堀小校舎建設	70.156
飯野小校舎建設	109.341
公営住宅用地等取得	47.826
<b>大佐和地区</b>	
農業構造改善事業	47.941
林道岩畠線舗装	16.740
大貫漁港改修	11.600
大坪山観光道路新設	64.407
市道整備等	35.279
大貫小校舎増築	34.205
塵芥焼却場建設	80.930
<b>天羽地区</b>	
飼料基盤整備	23.432
湊川沿岸用水改良	15.215
戸面原ダム周辺開発	10.307
農面道路開設	26.140
鹿原線林道開設	16.143
竹岡漁港建設	15.200
市道補修整備	74.000
天神山小、竹岡小校舎改築	120.868
各災害復旧	100.359

富津地区臨海土地造成事業計画について一月十六日付けで平良)に諮問、三月九日市公害対策審議会(会長下間利一)に諮問しました。この事業計画が富津市に及ぼす財政上の問題、後背地土の利用、県への要望等検討しております。

富津地区臨海土地造成事業計画について一月十六日付けで平良)に諮問、三月九日市公害対策審議会(会長下間利一)に諮問しました。この事業計画が富津市に及ぼす財政上の問題、後背地土の利用、県への要望等検討しております。

富津地区臨海土地造成事業計画について一月十六日付けで平良)に諮問、三月九日市公害対策審議会(会長下間利一)に諮問しました。この事業計画が富津市に及ぼす財政上の問題、後背地土の利用、県への要望等検討しております。



富津地区  
臨海土地造成事業計画  
市公害審議会に諮問

# 福祉優先の政策を

=市長所信表明=

3月12日行なわれた市議会にて、昭和48年度行政執行に対し、次のような市長の所信表明があつた。

社会福祉の充実等、長期にわたり財源の重点配分と経費支出の効率化に取り組み、節度ある行政運営に当らなければならぬと考え、今年度当初予算編成に当たり次のような内容を盛り込んだ。

築を行なう外、中央保育所の定員増をはかり地域の需要に對処する。また、決定の段階でないため、住民の生命財産を保護するため更に消防力の増員についても救急車の増に伴う施設の強化をはかり救急対策活動に万全を期する。

## 教育文化施設の整備

### 生産性を高める 地場産業の振興

昭和四十六年四月、社会的・経済的情勢に即応し、地域にあわせた経済開発促進、観光資源の開発と自然保護・新しい時代のための社会開発の推進・生産性を高める地場産業の振興・を合併の基本方針として長期五ヶ年計画を策定、住民の福祉向上を目指して発促した。

以来二年経過、その間砂利採取税の落ち込み等財政計画上一部誤りがあり総合五ヶ年計画の完全な消化は成し得なかつたが、概ね初期の目的を達成しつつある。

今回第三年次を迎えるに当り工場誘致の遅れに加え、経済変動の激しい時期に直面し、極めて流動的な处置を取らざるを得ない実情にあり、この期したい。また住民の要望に応え、青堀、飯野保育園の増

老人医療無料化に対処して機構の改善、人員の充実をはかり合せて福祉業務の万全を期したい。

社会福祉対策の強化

岡小学校、天神山小学校校舎の改築と大賀小学校増築、更に本年度より新たに青堀小学校改築を行なう。

なお、道路の改良舗装、区画整理、上下水道、ごみ処理等の生活環境施設の整備も引き続き推進する。このごみ処理施設については日下その位置選定につき交渉中で、六十分トランクを目標に今年度は二〇トン炉設置を計上した。

その他、公害対策として大気汚染防止をはかるため公害測定機の導入の外、公害課の設置、有識職員を増強し之に対処する。

また、交通安全対策にしても専任の交通指導員の設置等

生活環境の改善と安全を図るために人員と施設の充実整備を積極的に推進する。

## 国民体育大会

遂行に努力

近年、農林業にあたっては需要の減少と労働力の他産業への流失、漁業にあつては漁場の縮少と資源の減少等、憂慮すべき事態にあるため、之の振興を図り、農業構造改善事業の推進、土地改良事業促進その他の飼料基盤整備を始め各種生産基盤整備の促進をはかる。また、漁港の整備と共に水揚荷さばき所等関連施設も、より充実をはかり総合的な農漁業の振興を図る。

当市は、男子教員バスケット、山岳競技の会場地として現在準備を進めおり、この機会に、市民総参加のもとに

日常生活に直結した、道路、上下水道、生活環境施設、学校等の公共施設の整備と社会福祉の充実を積極的に進める所存である。

本年度は今までにないきびしい財政環境の下に置かれるので、その財政運営にあたつてはこれまで以上に不要不急の事務事業を排し、財源の効率な配分に努め、地域住民の日常生活に直結した、道路、

上下水道、生活環境施設、学校等の公共施設の整備と社会福祉の充実を積極的に進める所存である。



また、新五ヶ年計画の策定については、鋭意努力してきたいが、決定の段階でないため、今後議会及び給開発審議会等に協議を重ねて成案したい。

## 三月市議会から



- 設置及び管理に関する条例の一部改正
- 消防賞じゅつ金条例の一部を改正
- 公民館に関する条例の一部を改正
- 学校給食センターの設置等に関する条例の一部改正
- 国民健康保険条例の一部を改正
- 予算と六つの特別会計予算を別表にあるとおりで、財政規模は、一般会計に二九億四千八百六十万円、他に五つの特別会計で六億九千一百七十一万七千円になつてゐる。
- この特別会計の国民健康保険事業では、老人福祉法による医療費で約二〇%が見込まれ、有線放送事業母子センター事業、広域行政受託事業などの運営管理にかかる経費はその実態に即し繰り出しを行い合理化につとめている。
- 天羽地区の昭和四十六年発生した九ヶ所の災害復旧事業について急を要するため専決処分をしたことの承認
- 昭和四十六年度決算認定
- 農地課税審議会条例の廃止
- 市街化区域内農地の宅地なみ課税を、特例により一ヶ年に限り審議会を設置したがこれを廃止する。
- 非常勤特別職の報酬及び費用弁償条例の一部改正
- 富津地区給水装置事業基金条例の一部改正
- 地方税特別賦課税条例の一部改正
- 老人医療費の給付に関する条例を一部改正
- 有線放送電話に関する条例の一部改正
- 温泉供給事業の設置等に関する条例の一部改正
- 温泉供給事業の設置等のため、一般家庭にも(一戸二十戸まで)供給することになったもの
- 総額二九四、八六〇万円
- 国民健康保険事業特別会計予算
- 富津地区有線放送電話特別会計予算
- 大佐和地区有線放送電話事業特別会計予算
- 天羽地区有線放送電話事業特別会計予算
- 広域行政事業受託特別会計

## 交通事故防止に

## 婦人交通指導員

## 誕生

…世は正に交通戦争…

毎日のように交通事故があり、それを絶ちません。私たちの身边でもごたぶんにもれづ、依然として交通事故が発生し

ております。

今年一月二月の状況と前年同期との比較をしますと、

事故件数 四六件で八件増  
死者 三人で二人増

負傷者 六三人で六人増なっています。

この交通指導員の仕事は、園児や児童、老人などを交通灾害から保護するための誘導又は指導、交通安全思想の普及啓蒙のための広報活動にも従事していただきます。皆さんのが支援をお願いします。

ト  
居  
郵便

○母子健康センター事業特別会計予算  
総額 八、三三八千円  
○温泉供給事業会計収益的収入及び支出予算  
○市道線の認定  
天羽地区、梅田・伊豆谷線、御代の上片次線、五反田・深田線、真瀬森脇線、天王前川線の五路線を認定

域開発に伴う水資源の枯渇による新たな水源選定など経費増高問題に対処するため四月から水道料金を大佐和水道料金と同額に引き上げる

○千葉県市町村公平委員会共同設置規約の一部改正  
○千葉県旧市町村職員恩給組合資産管理組合規約の変更  
○郵便局にも転居届を提出された場合、友人や知人などに転居通知を出すこと更をされる方が多くなります

○市道線の廃止  
天羽地区加藤部落の圃場整備事業のため二路線を廃止する  
以上の二十八議案が審議されました。

## 農村青年 海外派遣 募集

## 募

県では、現在農業に従事し将来も農業に従事しようとする青年を海外に派遣しており、また昭和三十六年四月一日以後の加入期間でなければならぬが、厚生年金保険と船員保険の加入期間は同日以降にいずれかの年金制度に入れば、それ以前の加入期間も通算の対象となります。

○住所は完全に、肩書もお忘れなく  
アパートにお住いになる方、下宿・間借り・同居されていられる方の住所には「○○荘」、「○○方」などの肩書き忘れずにお書き下さい。

これは、県内で農業を行なうという意欲的な農村青年男子を米国に派遣し、米国農業の実際を体験することにより経営能力を養い、地域農業発展に指導的人材を養成することを目的とする。

○派遣期間 一ヵ年  
○派遣の時期 五月～六月  
○経費 補助金と本人の実習で得た賃金でまかなう

派米農業研修制度と米国派遣農業実習生制度の二制度があり、健康で意欲的な農村青年のみなさんが多数応募されたい。

○派遣期間 一ヵ年  
○派遣の時期 五月～六月  
○経費 (派米農研生に同じ)  
申込みは市役所振興課又は支所経済課詳しい問合せは

○派米農業研修生  
○募集の時期 五月～六月  
○資格 (派米農研生に同じ)  
申込みは市役所振興課又は支所経済課詳しい問合せは

二八三番へ  
六一一に問合せ下さい。  
れなく

## 年金制度は

## 通算されます

## 通算される加入期間

通算の対象となる加入期間は、原則としてひとつ年の年金制度の加入期間が一年以上あります。また昭和三十六年四月一日以後の加入期間でなければならぬが、厚生年金保険と船員保険の加入期間は同日以降にいずれかの年金制度に入れば、それ以前の加入期間も通算の対象となります。

この届出は郵便局の窓口や市役所の転出入手続きの窓口へ郵便物を転送することになりますから、これに記入のうえお近くのポストに入れてください。

○郵便番号の変更通知も忘れずに  
転居されると郵便番号も変わりますから、転居通知や新しい名刺を印刷する場合は郵便番号を記入することをお忘れなく

年金との通算請求をお忘れなさい。厚生年金等と国民年金との通算請求をお忘れなさい。なおくわしいことは国民年金係または木更津社会保険事務所(○四七八一三三七七)へ

合組合 公共企業体職員等共済農村漁業団体職員共済組合

○派米農業研修生  
○募集の時期 五月～六月  
○資格 (派米農研生に同じ)  
申込みは市役所振興課又は支所経済課詳しい問合せは

二八三番へ  
六一一に問合せ下さい。

れなく

現在八種類の年金制度があり、その人の職業により加入する年金が異なっており、すべての人がいずれかの年金制度に加入する国民皆年金への体制がしかれています。

これらの年金制度は、…いずれも老後の所得保障を目的とした老令年金または退職年金が年金給付の中心となっています。老令年金を受けるためには、二十年もしくは二五年という長期間その制度に加入していることが条件となっています。

制度で、老令年金をうける年数を満す前に転職などにより他の年金に加入し、いずれの年金制度からも老令年金等がうけられない場合があります。

そこで、各年金制度の加入期間を合算し、一定の加入期間があるときは、各年金制度の加入期間に応じた通算老令年金等が支給され老後の所得保障をすることになつております。

厚生年金 船員保険 国民年金 國家公務員共済組合 地方公務員等共済組合 私立学校教職員共済組合

○通算される年金保険

(8) (7) (6)(5)(4)(3)(2)(1)

合組合 公共企業体職員等共済農村漁業団体職員共済組合

## 県公害審答申概要

## ＝富津地区企業計画＝

以上の工場（緊急時対象工場）における現状のばいりで、煙の排出量は下記のとおりで、煙排出量は、地域全域における総排出量の九七%を占めて

(1) 各社別排出量・総排出量		いおう酸化物について	
企業名	排出量	区域	いる。
三井君津開発株	二三・六	山川	市内
東京電力株	二二・五	川菜	市内
新日本製鉄株	一〇・八	千葉	市内
国土総合開発株	一一・九	君津	市内
三菱君津開発株	一〇・九	君津	市内
計	四八・二	市原	市内
		船橋	市内
		千葉	市内
		市原	市内
		君津	市内
		久留	市内
		町	市内
(2) 臨海部地区排出量・臨海	二七二	市川	S O 排出量
部総排出量	二七二	川菜	
	二二・五	千葉	
	一〇・九	君津	
	一一・九	久留	
	一〇・九	町	
(3) 著地濃度および新環境基準との照合	一、五五九		
(1) (2)による最大重合度	一、五五九		

点（富津地区より約四五km地点）における着地濃度を工場の新增設に適用する基準（一定時間値の最高〇、二五%）を適合させ、地域の環境基準を満足させることとした。その後、富津地区においては総合開発審議会の答申にもとづき石油精製、石油化学工業の進出が取りやめになつたうえ、電力に対しては LNG 専焼、化学工業、ガラス工業に対しては排煙脱硫装置の設置、その他の業種に対しても低いおう燃料の使用等を指導した結果、当地区におけるいおう酸化物の排出量は約四八（調査時五、三三四% の〇・九%）に減少することとなつた。一方、千葉、市原地域における既設の主要企業（緊急時対象工場）に対しては、総量規制を指導し、いおう酸

化物排出量の四十八年協定値を五十二年を目途に半減させることとしており、また、君津地区についても前記の措置に準じた指導を行なうこととなる。従つて、これらの措置によって千葉から富津に至る企業からのいおう酸化物排出量は、調査時点に比し大幅に減少することとなる。また、富津地区的五社から排出されるいおう酸化物の重合着地濃度については、国土総合開発および三菱君津開発の低煙源（三五〇mおよび三〇m）と三井君津開発および新日本製鉄の高煙源（一六〇m、一二〇mおよび七〇m）は事実上重なり合うことがなく、低煙源のピーク地点は煙源から約一km地点、高煙源のピーク地点

は、千葉、市原地区および君津地域からの影響が大きいものと考えられるので、いおう酸化物の半減計画および公害防止協定の改定によって、当地域からの排出量を大幅に減少させる必要がある。特に、富津地区までの距離および煙源状況からみて、新日本製鉄君津製鉄所に対しては万全な防止策を講じさせる必要がある。……公害防止協定によれば、四号高炉完成時（昭和五十三年）におけるいおう酸化物総排出量は一、七一七t/hであるが、必要があれば北至の風向における風洞実験等を行なわせ、いおう酸化物の新環境基準を満足させるよう現在協定の改定を行なうべきである。また、富津地区は冬季、

# 消防本部

## ご家庭に 火災速知器の 設置を

市消防署の電話は大佐和五  
局の一七二一一番でしたが、こ  
のたび電話の増設に伴い三月  
二十二日から火災、その他の問  
合せは、下記のとおり変更  
となりましたのでお知らせし  
ます。

火災、その他の問合せは消  
防署へ

○四七八六（大佐和）五局一  
七二一番・五局一七二二番  
五局一一一一番（大佐和支所）

「火災、救急の通報は局番  
なしの一九番」



「各家庭でこの『火災速知器』を各部屋、炊事場、風呂場につけて早期発見、早期通報にご協力下さい。この『火災速知器』の値段は一個三五〇円です。申込みは、消防署又は地元消防団へ

い。  
の区には消防署から出向いて説明しますのでご連絡ください。  
なお、詳細な説明をこ希望

くように指導しています  
「火災速知器」は部屋の温度が八十五度前になると小さな音を立てて爆発しすぐ心の出たことがわかる仕組になつています。

ような事故がよく起きていま  
す。そのため、消防署、消防  
団では早期発見、早期通報、  
避難をモットーに「火災速知  
器」を各家庭についていただ  
けます。

火災は「早期発見」と「早期内に消防署へ通報」することが大切です。

# ご家庭 火災

# 家庭に 速知器の 設置

電話番号の  
お知らせ

今月から毎月広報の発行が出来るようになります。これからは、住民検診やいろいろの行事予定もお知らせすることができるでしょう。

る。

## 要約

富津地区におけるいおう酸化物の濃度は、他地域に比して比較的高濃度であるが、現行の環境基準は満足しており、さらに県においては、京葉臨海部の主要企業に対して昭和五十二年を以て、四十八年時点におけるいおう酸化物に係る協定値の半減を行なわせ、新環境基準に適合させるよう協定の改定を指導中である。また、同地区は冬季、北系の風が卓越するとき、対岸の川崎地区工業地帯からの影響の可能性もあり得るが、現状でも同地区からいおう酸化物

排出量は比較的少量であるとされるが、京葉臨海工業地帯（市川・君津）のいおう酸化物の総排出量は、現在一八、一六八tであり、これに対しても、富津五社の同排出量は四八tであるので当地への寄与は前者の影響が決定的である。従つて、新環境基準が達成できるか否かは、かかるて既存企業の今後のいおう酸化物減少対策によるものであり、このため富津五社が当地に進出する時点までに公害防止協定の改定等により既存企業のいおう酸化物排出量を減少させることが必要である。なお、既存企業からいおう酸化物の排出量が多量であるため、富津五社の

排出量は比較的少量であるとされるが、昭和五十一年には国値をえ、川崎市の公害防止条例により昭和五十一年には国値を出量を昭四五五年の約五分の一に減少させることとしているので、将来富津地区への影響はほとんどない程度にまでに減少するものと考えられる。

従つて、富津地区への五社の進出があつても同地区的いおう酸化物の現行環境基準に対する適合は問題ないとと思われた。しかしながら、日下、岡において、いおう酸化物の環境基準の見直しの動きがあるので、新環境基準決定の段階で必要に応じ、改めて調査のうえ企業指導をさらに強化し

て小さいものと推定される

べきであるが、京葉臨海工業地帯（市川・君津）のいおう酸化物の総排出量は、現在一八、一六八tであり、これ

減少させることは、公害防止協定の改定のみでは保証しえないという理由で、現段階では五社の進出を認めることが反対であるという意見があつた。

は反対であるといふ意見があつた。

た。

た。</p

## おしらせ

## 犬の登録と狂犬病の予防注射

4月3日(火)	青山富二	堀王津間	民公支	館館館館所	10時 ~12時
	二川富	塚名津	民公民	館館館館	13時 ~14時
	絹佐大	貫佐	民年支	館館所	10時 ~12時
	4月16日(月)	觀農村青少年研修センター	青和満寺		13時 ~14時
4月17日(火)	閑環姥	南本	豊川名上森	駅校石脇館前	10時30分~11時
	姥岩峰	小川商公竹	学校商店民屋		11時15分~11時45分
	4月18日(水)	梨澤神岡上	豊民農人老	駅前協ム	13時 ~14時
	竹金更萩	川谷和生天	湊漁業協金	前合倉井支	10時 ~11時
4月19日(木)	大	森人	農人羽	前戸所	10時 ~10時50分
			黄	前戸所	11時15分~11時45分
			金	前戸所	13時 ~13時30分
			支	前戸所	13時 ~14時30分
			フ	イッシングセンタ	13時45分~14時30分

不用犬を出したい方は各支所住民課まで連絡下さい

天羽支所

種 目	日 時	場 所 等
ポリオ生ワク投与	4月13日 1時30分～1時40分	市役所47・7・1～12・31日生
三 種 混 合	4月30日 " "	市役所47・9・1～11・30生
当日携行品一母子手帳 問診票と体温測定を行います		
<b>大佐和支所</b>		
ポリオ生ワク投与   4月11日1時30分～2時30分   中央公民館		
◎妊娠検診 (母子健康センター)		
毎月第1、第3、月曜日 午後1時～2時		
◎乳児相談 (母子健康センター)		
第1木曜日 (47年6・8・10月(偶数月)生)		
第2木曜日 (47年4月・47年12月・48年2月生)		
<b>富津地区</b>		
三種混合第3回	4月11日 1時～3時	富津支所
赤ちゃん検診	4月13日 1時～3時	"
ポリオ生ワク投与 (小児マヒ)	4月19日 1時～2時30分	富津支所
第一期種痘	4月20日 1時～2時30分	47年7月1日～12月31日生まで
種痘判定	4月27日 1時30分～2時	富津支所47年1月1日～6月30日 生まで
◎土産品検証		

赤ちゃん検診  
毎月第2金曜日 午後1時～3時まで 3ヶ月児の赤ちゃん検診（支所）  
育児相談  
隔月（偶数月）の初旬部落に出張して行なうが日時、場所等は広報でお知らせいたします。見落さないように 気をつけて下さい

## —天然記念物—

向山フジザクラ樹林

富津市海良字向山一七〇



俳句

かれい釣りの汐待ちをして汐  
木焚く 大森錦織 大洋  
春潮のせり上り来し入江かな  
岩瀬 七条 一次 摘はざる離にはあれど子等た  
のし 佐貫志波 とくみ  
お遍路や歩き疲れて宿の風呂  
富津 小林 逸象  
柳の芽牡丹の芽と見て歩く  
篠部 馬場 かね  
防風掘り話は二人だけのこと  
小久保 堀 新樹  
春潮に二泊三日の旅と聞く  
山中 白石 良子  
彼岸入り富津岬に防風掘る  
絹字渡 絹

ここは標高約五〇メートル  
凝灰質泥岩よりなる七九、八六八アルの丘陵で、海岸に近く屹立し、クヌギ、ガマズミ等の雜木にまじつて見られる。指定当時の所有者は、良三七一・神子繁氏であつたが昭和三八年八月二六日以降市本太町三一二五石井耕治、石井耕吉両氏に所有変更された。しかし保存管理について、旧天羽町が管理団体の指定を受けており、衰亡のそれある現状変更等はゆるぎれない。

といふ、本州中部以東特に富士・箱根地方に多いサクラである。現在本県の分布は、勝浦市台宿、大原町、旧清和村、木更津市、旧天羽町等のきわめて限られた地域に自生する富士・箱根地方に見られるような美觀こそないが、分布上の特異性を重要視して稀有の森林植物相として指定されたなお、フジザクラの一般樹高は三一五メートル位単立小喬木である。ここでは、指定前薪炭材に供するため根際から伐採し、それら一株数条の藝が四五メートルに生長している。開化期は年により多少ずれがあるが三月下旬から四月上旬である。